

日	曜日	主な予定
1	月	全校朝会
2	火	SC
3	水	かしの木学習
4	木	
5	金	
6	土	土曜授業
7	日	
8	月	全校朝会 避難訓練
9	火	SC
10	水	かしの木学習
11	木	建国記念の日
12	金	
13	土	
14	日	
15	月	全校朝会 委員会
16	火	セレクト給食 SC
17	水	かしの木学習
18	木	安全指導
19	金	児童集会
20	土	土曜授業
21	日	
22	月	全校朝会
23	火	天皇誕生日
24	水	かしの木学習
25	木	
26	金	児童集会 保護者会(3・4年生) 14:45～
27	土	
28	日	

SCはスクールカウンセラー来校日です。

保護者会予定 3月1日(1・2年)、3月4日(5・6年)
14時45分～

生活目標 2月の生活目標

生活指導 池田 幸子

「元気よくすごそう」

安全目標「休み時間の遊びの約束を守って遊ぼう」

保健目標「元気に体を動かそう」

給食目標「みんなで協力しよう
(かむことの大切さを知ろう)」

寒さ、コロナに負けない強い体を作るために、睡眠、栄養、運動を心がけましょう。土曜日・日曜日の検温も欠かさず、ハンカチを持つことも心がけましょう。

おめでとうございます！

「いのちの教育」読書感想文コンクール

◆小学校低学年の部

最優秀賞 3年2組 山岸 果未 さん

優秀賞 1年1組 北村 陽奈子 さん

学校代表 2年1組 川口 礼人 さん

◆小学校高学年の部

学校代表 4年1組 川口 礼奈 さん

学校代表 5年2組 竹内 瑛都 さん

学校代表 6年2組 荒木 日葵 さん

※各学年から1名が代表に選出され、2名が入選しました。

第66回 東京都読書感想文コンクール

杉並区代表 3年1組 小林 さち さん

杉並区代表 5年2組 小林 あい さん

※本校の2名が杉並区代表として選出されました。

第17回 すぎなみ本の帯アイディア賞

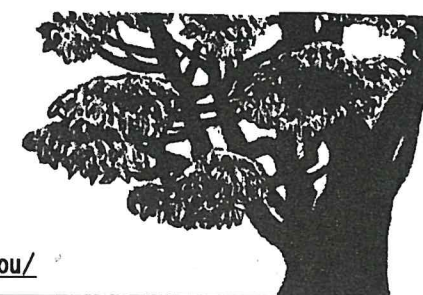
◆本の帯ビジュアル賞

5年2組 近藤 春華

※杉並区のコンクールに応募し、入選しました。

橙の木

健康で心ゆたかな子 深く考えくふうして学ぶ子 進んではたらく子

2月号 杉並区立杉並第六小学校 <http://www.suginami-school.ed.jp/sugi6shou/>

「いのちのいれもの」

副校長 山澤 拓郎

今年度の読書に関わるコンクールでたくさんの児童が表彰されました。(4Pをご参照ください)

受賞された児童のなかで、「いのちの教育」感想文コンクール最優秀賞に輝いた山岸果未さんの感想文を紹介させていただきます。この感想文をご覧ください、命の大切さを実感していただけると幸いです。

「さいごまでがんばりたい」 3年 山岸 果未
わたしは、「いのちのいれもの」という本を読みました。どうしてこの本を読んだかというと、教科書でしようかいされていて、きょう味を持ったからです。

この本は、女の子のトコちゃんが動物園に行くお話です。元気な動物たちと会うのですが、アムールトラのイチだけ元気がありませんでした。心ばいたトコちゃんはその後、家族といっしょに動物園に行きます。でも、イチのところに行くと、かんばんが立ててあり、イチが死んでしまった事が書かれています。悲しい気持ちのトコちゃんに、園長さんが「いのち」の話をしてくれます。園長さんは、トコちゃんのいのちはトコちゃんだけのものではない事や、四十億年前からいのちがつづいてきた事を話してくれました。

園長さんの話の中で、わたしの心に残っていたのは、「いのちのいれもの」についての話です。生きものは、色も形もちがうけれど、同じ事は、中にいのちが入っているという事です。その「いのちのいれもの」は、四十億年も、たくさんすがたをかえて、生きてきました。この場面を読んで、「わたしもすてきないのちのいれものになって、大切ないのちを守ってあげたいな。」と思いました。もし、わたしにとって大事な人が死んでしまってとても悲しい気持ちのときに、「〇〇さんはもういない。でも、〇〇さんのいのちは、わたしの中にうけつがれているよ。」と自分をはげましてあげたいです。

さい近、いのちを自分からたってしまうニュースをよく聞きます。わたしは、そういうニュースを聞くと、「なにか理由があったり、とてもいやなことがあったりするかもしれないけれど、そこでのいのちの糸が切れてしまう。」と思います。どんなにいやなことがあってもはげまして、いのちの糸をとぎれさせないようにしたいです。イチのように、びょう気とかで死んでしまうのはしかたないけれど、自分で死んでしまうのは、イチのような生きたくても生きられない動物や人に、とてもしつれいな事だとずっと思っていました。この本を読んで、その考えがもっと深まりました。

わたしは今まで、「自分がどう見えているか」にこだわっていました。でも、「いのちのいれもの」という考えを知って、「体はいれもの。大切かも知れないけれど、中身のほうがもっと大事。だから、見た目をみがくのもいいけれど、中身のせいにかくをみがかなきゃいけないな。」と考えるようになりました。

園長さんが、「イチはせいっぱい生きた。」と話していた場面も心にのこりました。「わたしもイチのように、せいっぱい生きよう。死んでしまうのはこわいけど、ぎりぎりまでがんばろう。」という気持ちになりました。

いやな事や悲しい事があったときも、そこであきらめないでイチのようにせいっぱい生きられる人になりたいです。

【全文を原文のまま掲載】

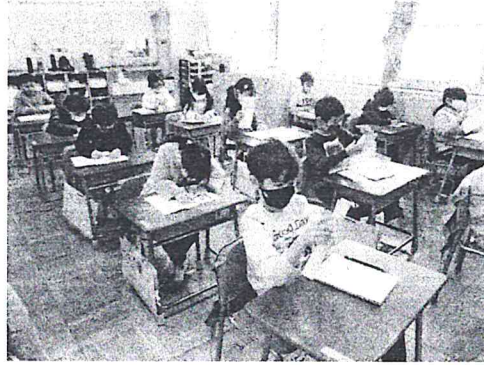
2020年の全国の自殺者は、前年比で10年連続減少していたものが、11年ぶりに増加に転じたそうです。確かにコロナ禍の中での様々な生活の変化による不安も影響しているかもしれませんが、でも、こんな今だからこそ、人との「つながり」や「かかわり」を大切に、共に支え合いながら、自分の中にある大切な「いのち」を精一杯かがやかせていきませんか。

1月の子どもたちの様子

1年 はじめての席書会

1月12日(火)始業式。その後、1年生にとっては初めての席書会が実施されました。2学期末に始めた時から、1時間1時間緊張感をもって取り組んできました。当日は、改めて気を付けて書くことを確認してから、書き始めました。

静かな教室の中で、一画一画丁寧に心を込めて書いていました。一枚書き終わると「はぁ。」と一息。全員が書き終わり、並べて貼ると、みんながとても上手に書けるようになっていて、成長が更に感じられました。

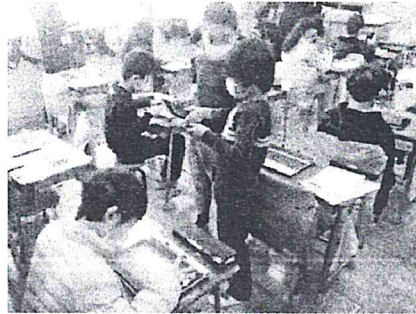


2年「九九の表」の学習～タブレットを活用して～

2年生では、1学期から計画的にタブレットを活用した学習を進めてきました。個別に進めることができることや、図や表で表したことを共有しやすいことなど、タブレットの良さを生かした学習を繰り返し行っています。

今ではロイロノートというアプリを使って、自分の考えを表現したり、友達に自分の考えを伝えたり、また、友達の考えと自分の考えを比べて自分の考えを修正したりすることができるようになりました。

6年生になるころにはICTを学習用具の一つとして自分自身で場面を考えて活用できるようになると期待しています。



3年 席書会・校内書初め展

1月12日(火)3・4時間目に席書会を行いました。3年生にとっては、はじめて毛筆での書き初めでした。「ふじ山」の三文字を用紙のバランスや字の形などたくさんあるポイントに気をつけながら、一筆一筆とても集中して書きました。書き終えた後は、満足そうな子、悔しそうな子など様々でしたが、全員が素敵な作品を仕上げることができました。

後日、校内書初め展で全校の作品を鑑賞しました。1・2年生の硬筆の作品を見て、「上手だなあ。」とたくさん褒めていました。4・5・6年生の作品を見て、「おぉ!!」と驚きながらも、来年度は自分たちもこんな風に上手に書きたいと意欲をもっていました。今回は、保護者の皆様には、残念ながら学校で作品を見ていただくことができませんでしたが、持ち帰った作品をぜひ一緒に鑑賞ください。



4年 席書会

3学期の始まりである1月12日の3、4校時に、席書会を行いました。題材は「光る大地」です。

「光」は字の大きさや、上下のバランス。「る」は、部分の長短と結び。「大」は右払い。「地」はへんにつくりのバランスやね等、たくさんあるポイントを意識して、何度も練習しました。その後清書しました。子ども達は、1年間の書写の総まとめとして、精一杯作品を仕上げました。

今回は、学年の作品を直接見ていただくことはできませんが、持ち帰った作品を、お子さんとご家庭で鑑賞していただければ幸いです。今年も字が上達する1年になりますように。



5年 ビオトープHAPPY計画

6月から行ってきた、杉六小ビオトープを「本当のビオトープ」にする活動ですが、1月14日(木)ついにビオトープに水を入れ、完成に近づきました。子どもたちは「杉並区に昔いた動植物が再びこの地域でくらすようにする」という目標をもち、理想のビオトープ完成図を作りました。その完成図を、杉並区環境ネットワークの方々から形にくださり、完成図に向けて、作業を行いました。池に入れる赤土を洗い、麻袋に詰めたり、たくさんの植物の苗を植えたり、もともとビオトープにいた生き物を在来種と外来種に分類したりと、それぞれの子どもの興味や関心に合わせて作業を分担していきました。

完成後、子どもたちに感想をきくと、「みんなの意見が形になって感動した。」「無理だと思っていたけれど、頑張れば達成できると思った。」と述べ、達成感を味わっていました。

6年 家庭科 工夫しよう、おいしい食事

6年生では、家庭科の学習で栄養バランスの取れた食事について考えます。

はじめに、給食の献立の栄養について調べました。給食がいかにバランスよく作られているかに気付きました。栄養士の川崎先生に来ていただき、献立を作るときに心がけていることを聞きました。「旬の野菜を使う」、「四季折々の行事食を取り入れる」、「あきなく偏りなく作る」などたくさんの工夫を聞き、子供たちは感心していました。

次に、栄養バランスのとれた献立を考えました。学校図書館の本を参考にしたりインターネットで作り方を調べたりして準備をしました。本来なら調理実習を行います、コロナの影響で調理実習ができません。そこで、考えた献立を家庭で作ることにしました。

自分で買い物をし材料をそろえたり家族に手伝ってもらったりして、自分で立てた献立に挑戦しています。3月には、6年生の考えた給食が出る予定です。楽しみにしてください。

